

地域振興施設（国府道の駅）の今後の進め方について

1 進め方の方針

徳島南環状道路の開通時期の見込みが立たない中で、本年6月に公表された道路交通センサスにおいては、国府道の駅予定地における交通量は、前回調査時より増えてはいるものの、全線供用時の将来交通量と比較して、かなり少ない状況も踏まえると、本市として、総事業費が19億3千万円に上る国府道の駅の整備を、このまま進めた場合には、十分な利用者がいないために収益が確保できず、その結果、本市が負担する指定管理料が多額となり、将来にわたって本市の財政を圧迫することも懸念される場所である。

このため、ここで一旦立ち止まって事業を検証することとし、連携し事業を進めている国土交通省にも十分に協議を行いながら、庁内に関係課からなるプロジェクトチームを設置するとともに、外部有識者や地元関係者により構成される外部有識者会議を立ち上げ、国府道の駅の今後の進め方について、検討するもの。

2 プロジェクトチームのメンバー

リーダー：経済部長

サブリーダー：経済部副部長

チーム員：経済政策課長、観光課長、農林水産課長、耕地課長、
公共建築課長、財政課長、企画政策課長

3 外部有識者会議のメンバー（案）7名程度

- ・学識経験者等 4名程度
- ・公認会計士 1名程度
- ・地元関係者 2名程度

4 今後の日程等

- ・平成29年9月末 庁内にプロジェクトチームを設置
- ・平成29年10月 外部有識者会議を設置
- ・平成29年度内 市長へ報告書を提出
市議会に報告
市民に公表